

議会報告会

■9会場で議会報告会開催！

◇昨年の11月以降には、各会場で次の事項について、幅広く意見や要望そして質疑が交わされました。

口減少、後継者問題についてなど。

【鳥沼会館】14名出席

・住民情報システム、防災対策、議会基本条例、広域連合、公設地方卸売市場、各委員会調査、民生児童委員、本通り商店街、高規格道路、まちなか居住、商店街活性化、富良野市内共通商品券についてなど。

【南コニセン】15名出席

・議員定数、民生児童委員、市議会だより、ペット迷惑条例、ベットの糞問題、北電の電力値上げ、冬季オリンピック、ゴミ排出、市町村合併についてなど。

【北の峰「ミヤン」】6名出席

・墓地通路、議会運営、保育所再編、旭川十勝道路、人口問題、農業担い手、限界集落についてなど。

【栄町「ミセン」】12名出席

・図書館開館日、介護保険特別会計、介護保険料、総合保育園、地域コミュニティ、個人情報、人口減少についてなど。

【東山公民館】15名出席

・社会資本整備、都市事例調査、農業担い手、民間ワイン事業、少子化問題についてなど。

【山部福祉センター】7名出席

・医院の閉院問題、地域高齢化、インフラ整備、地域高規格道路、観光対策、企業誘致、人

【麓郷集落センター】29名出席

・ふるさと納税、市有施設修繕、国民健康保険税、東大演習林立木、公衆トイレ、除排雪についてなど。

【育良会館】7名出席

・議員定数、中心市街地再開発事業、道路整備、農業担い手、介護対策、婚姻推進対策、インフラ整備、農業労働力確保についてなど。

※この中で出された、行政に対する要望や質疑については、持ち帰り担当に伝達、確認後会長を通じ回答しています。

可決された意見書

◇第4回定例会に議員提案された意見書は次の2件です。意見書は可決後、直ちに関係機関に送付しました。

●日ロフェリー定期航路の存続を求める意見書

(日里 雅至 議員 外6名)

稚内・サハリン州コルサコフ間の日ロフェリー定期航路は、平成11年から運行が継続され、今や北海道、サハリン州双方の住民にとって大きな財産となり、地域間の架け橋として、北海道及びサハリン州において高い評価を得ている。

しかし、運航会社から同航路の収支は厳しく「同航路の撤退を検討」と伝えられていることは、北海道・サハリン州の地域間交流への不安が道内各地に広がっている。

液化天然ガス生産の8割程度を日本へ輸出するなど、サハリン州は大きく変貌しつつあり、昨年から北海道とサハリン州との互恵的協力を図るべく道北9市による

「ユジノサハリンスク道北物産展」を開催し「点から面へ」と拡がっており、今やサハリン州は「不可欠な隣人」であり、物流の拡大など将来への期待が高まっていることから、国及び北海道に日ロフェリー定期航路の存続に向けた支援を求める意見書

●「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子供の実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書

(今利一 議員 外5名)

「新たな高校教育に関する指針」に基づく「公立高等学校配置計画」が進むと北海道の高校の約43%がなくなることになる。

広大な北海道の実情にそぐわない「同指針」を抜本的に見直し、「配置計画」は道民の意見を聴き一方的な改革は行わないこと、遠距離通学費等補助制度の年限の撤廃、障がいのある・なしに関わらず子どもが地元の高校へ通うことが出来る後期中等教育を保障する検討を求める意見書